

桜が丘中便り

掛川市立桜が丘中学校

令和4年12月号



令和4年が終わります。 今年もありがとうございました。

皆さまよいお年を！

「自分を見つめ一歩踏み出すステージ」(10月24日～12月23日)

私たちの文化に誇りをもって大切にできる人に！

私たちは、12月に入ると『今年ももう年の瀬だ…。』などと、時の過ぎる早さを表したりします。ところでこの『年の瀬』という言葉ですが、「正しく説明できますか？」と言われると、『だいたいはどのような意味か理解しているけど…。』という方、私を含めて少なくないのではないのでしょうか。

【年の瀬】年の暮れが訪れ、世間一般が忙しい時期のことを指す。『いつからいつまで』という明確な期間は決まっておらず、おおむね12月中旬以降を指す場合がほとんど。

調べてみると、このような内容が見つかりました。

また、他にも日本語の難しさを感じた表現があります。

『役不足』という言葉は、自分の力量に対して役目が軽すぎることを表します。そのため、『私のような未熟者がこのような大役をいただきまして…』と、謙遜して使用することは誤りとなります。

『耳ざわりがいい』は、『肌触り』を善し悪しで表現するためだと思うのですが、心地よい音楽などを表現するときに、私も言ってしまっていました。しかし、『耳ざわり』を漢字で表すと『耳障り』となるため、その段階で『不快な音や言葉』となります。言葉も時代で変化していますので、本当に難しいですが、美しい日本語を正しく使うことができるよう、私自身も努めていきたいと思えます。

日本には、世界に誇れる食文化に加え、ならわしや風習などの独特の風情や趣を感じる文化が各地方にあります。桜が丘中学校の生徒が、母国や故郷である掛川の良さを知ることによって地元を愛し、地域に守られながらたくましい心と身体を育むことで、新しい自分に向けて『一歩踏み出せる』よう、職員も生徒とともに『温故知新』で学んでいきます。1年間ありがとうございました。そして、来年もどうぞよろしく願いたします。

教頭 村松 康

新入生説明会(11月24日)

令和5年度に入学予定の生徒と保護者に対して、本校入学に向けた説明会を行いました。保護者の横に座り、初々しい姿で生徒会の生徒たちの説明を聞く新入生たちを見て、またひとつ桜が丘中学校の歴史が刻まれ、伝統が積み重ねられていくことを感じました。

前半の説明を聞いた後、新入生たちはクラスごとに授業見学を行いました。中学生が、真剣に考える場面や活気あふれる対話の場面を目の当たりにして、中学生になる心の準備が始まったように思います。(【写真左】今年も生徒会本部の生徒たちが、工夫を凝らして中学校生活を紹介してくれました。【写真右】箏の授業を見学する6年生。)



今年も様々なボランティアの皆様を支えていただきました

今年もたくさんの地域ボランティアの皆様を支えていただきながら、本校の教育活動の充実が図られました。消毒ボランティアや区長会の皆様による月1回のあいさつ運動、交通立哨、読み聞かせボランティア、花園ボランティア、長明会の皆様からいただいた雑巾など、こうした地域の皆様の御支援により、生徒たちは年末まで健康で充実した学校生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

皆様、よいお年をお迎えください。



1月の主な予定

- 1月 6日(金) 始業式 誠心のつどい 3時間で下校
- 1月10日(火) お弁当
- 1月11日(水) 1, 2年生県学力調査 3年生実力テスト
- 1月12日(木) Web出願~20日 P T A新評議委員会
- 1月12日(木) 3年生入試説明会
- 1月20日(金) 1, 2年生授業参観・懇談会
- 1月25日(水) 読み聞かせ

